

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社劇団風の子中部
公演団体名	株式会社劇団風の子中部

内容
<p>(事前ワークショップ) 心と身体の解放を目的とした“あそび”のワークショップを実施します。思春期にさしかかる、まさにギャングエイジ世代の子どもたちは、自我の目覚めとともに他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、喋る、表現する、演じることに相当なプレッシャーを感じる子どももいます。そこで演劇とは本来、PLAY＝演劇＝遊びであり、ごっこ遊びやものまねの延長であること、今回の舞台表現は「まずは、思い切り体を動かさず気持ちよさを体感して欲しい」と伝えるためのワークショップにしたいと考えます。</p> <p>[出演場面] 劇中の最後のシーン 絵筆に見立てた道具を持ち、舞台上を走り回りながら、宙に向かって落書きをするダンスシーンで主人公たち出演者とともに見学児童出演。</p> <p>◇事前に各校に作品の概要がわかるDVDと楽曲のCDと楽譜、ワークショップの内容、目的等をまとめたものを送付します。</p> <p>◇事前に出演者を決めておいてもらいます。最大30名。応相談。</p> <p>◇出演児童には上演作品のおおまかな内容の説明をし、歌と振付の練習してもらいます。</p> <p>◇本公演では実際に舞台上に立ち、全児童に観てもらいますので、ワークショップ後も、本番に向けて練習をしておいてください。</p>

タイムスケジュール (標準)
3・4校時の場合 9:30— 10:30~11:15—休憩—11:20~12:05 学校着・準備 WS① WS②
*基本、WSには2時限必要です。詳細時間は学校毎の授業時間の設定に合わせてます。
WS①: 挨拶、ウォーミングアップ。出演箇所の説明、練習。
WS②: 全員で練習の成果を発表。お互いに見合う。
本公演に向けての会場下見、打合せはWS前後に、学校の希望の時間に合わせ行います。

派遣者数
4名 (講師2名、助手2名)

学校における事前指導
◇事前にお送りしたCDと楽譜を元に、歌を覚えておいてください。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社劇団風の子中部
公演団体名	株式会社劇団風の子中部

演目
「ギャング・エイジ」 【スタッフ】 原作／阿部夏丸 脚色／いずみ凜 演出／中島研 音楽／曲尾友克 制作／西川典之 【キャスト】 井野口祥平・榎田大介・木村知代・安井萌々香・神田純平 上演時間 75分（休憩なし）

派遣者数
6名（キャスト5名、スタッフ1名）

タイムスケジュール（標準）
7:00—10:30—（昼食）—13:20—13:30—14:45—15:00—15:20—17:00 設営 リハ-ル 入場 開演 終演 終了 撤去開始 撤去完了 ↑ ↑ 児童参加 児童出演

実施校への協力依頼人員
特にありません。

演目解説

(あらすじ)

主人公エイジは、元気で人気者な小学四年生。

お笑い好きのタカヒロや優等生のミサキ、虫が好きになちよっと変わったココロ、ユニークな同級生たちと毎日を過ごしていた。

そんなある日、偶然が重なり、突然エイジは「らんぼうもの」のレッテルを貼られてしまう。どうしていいかわからないエイジは学校を逃げ出し、中学生のイサオと出会う。イサオは「ギャング」という言葉をエイジに教えてくれた。

「弱者いじめはダメだ。迷惑たれながす奴もだめだ。カッコいいギャングになるんだ」と語るイサオ。

学校で突然「らんぼうもの」になってしまったエイジ。枠に当てはめられるなら、いっそ自分から枠を飛び出してしまったら…？

エイジは決めた。目指すは〈カッコいいギャング！〉

タカヒロがピンチの事態に、ココロの機転とエイジの行動力で乗り切り、それをきっかけに、ココロのでっかい絵を描きたいという夢を知る二人。ココロの夢を叶えるために、カッコいいギャングになるために、三人の作戦会議が始まった。

(みどころ)

5人の演者が舞台空間を縦横無尽に駆け回るエネルギッシュな表現。ブルースハーブ（ハモニカ）の生演奏と音響効果による迫力あるサウンド。カラフルな枠を使った舞台表現。そして、原作の世界観を踏襲しながら、現代の“リアルな子どもたち”の心情が吐露されたような台詞の数々に、共感する子どもたちの感想も多数寄せられています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

【出演場面】 劇中の最後のシーン 絵筆に見立てた道具を持ち、舞台上を走り回りながら、宙に向かって落書きをするダンスシーンで、主人公たち出演者ととも児童出演参加。

子どもたちが、緊張感で表現できなくなるような形にならないように、リハーサルでは、具体的に子どもたちの心と体を解放できるような言葉かけや開放感のある空間づくりに努めます。

児童生徒とのふれあい

出演シーンは、主人公エイジをはじめ5人の演者たちと一緒に歌い、踊ります。